

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山光秀プロジェクト推進事業												
事業担当	所属	市長公室 秘書広報課				所属長	足立 譲治						
会計情報	事業コード	230118	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	会計	01 一般会計	決算付属資料	96	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に、明智光秀ゆかりの地 福知山市の歴史・文化を全国に発信するとともに、観光誘客による産業・商業の活性化を図り、市民が主人公となったまちづくりを進める。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山光秀プロジェクト推進協議会								
事業概要 (箇条書き)	平成30年9月に設立された「福知山光秀プロジェクト推進協議会」が実施する下記事業への負担金 ・福知山光秀ミュージアム整備運営 ・広報・PR ・団体連携 ・土産物販売所設置運営 等								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	97,312	福知山光秀プロジェクト推進協議会への負担金支出						
	工事請負費	3,563	福知山城駐車場整備工事 ほか						
	委託料	994	JR福知山駅前タペストリー制作取付業務 ほか						
	需用費	299	福知山城駐車場側溝グレーチング設置 ほか						
その他事務経費	461	複写機使用料、会議出席旅費 ほか							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	103,163		144,137		0		0
	② 補正予算	1,850	0		0		0		0
	③ 繰越予算	0	0		0		0		0
	前年度繰越	0	0		0		0		0
	次年度繰越	0	0		0		0		0
小計(①～③)	1,850	103,163		144,137		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0		0		0
	② 国支出金	0	47,332		50,366		0		0
	③ 府支出金	0	0		0		0		0
	④ 地方債	0	4,500		0		0		0
	⑤ その他特財	1,850	51,331		93,771		0		0
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0		0
	② 配当予算	1,850	103,163		0		0		0
	③ 執行額	1,850	102,629		0		0		0
	④ 執行率	100.0%	99.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.56/0	1.80	/	0.35	1.80	/	0.35	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,480	15,275		15,275		0		0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,330	117,904		15,275					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	総務費国庫補助金	実績金額	35,962	決算付属資料	18	頁
	特財名称	福知山光秀ミュージアム入館料	種類	総務使用料	実績金額	20,829	決算付属資料	10	頁
	特財名称	もうひとつの京都交付金	種類	総務費府補助金	実績金額	1,929	決算付属資料	24	頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1116577 / 1000000	/	1000000	1000000		
	福知山光秀ミュージアム入館者数	人	0	0	22660 / 23100	/	76900	100000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	実行委員会開催回数	回	—	8	10 / 12	/	10	10		
	単位あたりコスト			231.80	10262.94					
	団体連携件数(光秀PJ補助金)	件	—	—	11 / 17	/	9	26		
単位あたりコスト				9329.95						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	これまでの大河ドラマゆかりの地においては、多くの観光客の来訪があり、地域経済が活性化したことから、本市においてもこの千載一遇の機会を最大限活かし、大河ドラマ効果を本市産業・商業の発展につなげる必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	先進事例を踏まえ、行政だけでなく、事業者や商業団体等と連携して事業を推進するため「福知山光秀プロジェクト推進協議会」を設立した。また、大河ドラマ館の運営実績がある民間事業所から事務局長を招聘し、効率的な事業実施に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山光秀ミュージアムを核に、明智光秀を学ぶ連続講座や交通・宿泊・飲食事業者を対象としたおもてなし講座の開催などにより、目標である福知山光秀ミュージアム入館者数100,000人を実現し、観光入込客数増加による経済効果を市域に波及することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>大河ドラマ放送前においては、交通・宿泊・飲食事業者を対象としたおもてなし講座や著名な講師陣による明智光秀連続講座の開催、市内外でのイベント、協議会HPなどを通じて明智光秀と本市のゆかりなど歴史・文化を発信するとともに市民のおもてなし機運の醸成を進めた。また、大河ドラマを契機に明智光秀とのゆかりを発信する市民や団体の主体的な活動に対する光秀プロジェクト補助金についても広がりを見せている。</p> <p>2020年1月の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始後は福知山光秀ミュージアムを開館し、団体客・個人客の誘客に取り組み、目標入館者数100,000人に向けて想定を上回るペースで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月11日～5月末まで臨時休館となった。上記の活動を通じて、活動の目的である明智光秀ゆかりの地 福知山市の歴史・文化の発信や観光誘客による産業・商業の活性化、また、市民の主体的な参画についても順調に進んでいると評価している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>福知山光秀ミュージアムの入館者が想定を上回るペースで順調に推移していたが、3月に入り新型コロナウイルスの影響を受け、5月末まで臨時休館措置をとることになった。</p> <p>6月1日からようやく再開できたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場時の検温や手指の消毒といった基本的な対策のほか「3つの密」を回避するため入場制限を設けるなど段階的な再開となっており、目標である福知山光秀ミュージアムの入館者数100,000人の達成に向けて難しい舵取りが求められている。</p> <p>一方、令和2年度は、大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台が丹波地方に移ると思われることから、新型コロナウイルスによる困難な状況の中でも、訪れる方から福知山市が素晴らしいと感じてもらえるおもてなし、魅力ある商品開発やサービスによる商業・経済の活性化を図り、まち全体で「大河レガシー」をつくるべく、ゆかりのまちの盛り上げに努める。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 予算反映結果

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度末で廃止

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	大河ドラマ「麒麟がくる」推進事業									
事業担当	所属	市長公室 秘書広報課				所属長	足立 譲治			
会計情報	事業コード	230142	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマが戦国武将明智光秀を主人公にした「麒麟がくる」に決定したことを受け、明智光秀・細川ガラシャ・幽斎・忠興にゆかりの地域で連携して当地域の文化や情報を発信し地域の活性化を図る。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (協議会実施)								
委託先・実施主体等	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会								
事業概要 (箇条書き)	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会への負担金 【大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会】構成市町：福知山市(事務局)、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、長岡京市、京丹後市、大山崎町、丹波市、丹波篠山市、若狭町、京都府 事業概要：NHK京都放送局との連携事業、首都圏ほかPR活動、広告出稿、パンフレットの作成、旅行者業・メディア向けアプローチ、協議会ホームページによる情報発信など								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	750	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会への負担金支出						
	旅費	111	会議・イベント従事に係る旅費						
	使用料及び賃借料	26	高速道路利用料、会場使用料						
	役務費	21	資材運搬料						
需用費	12	パネル展示用イーゼル購入							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	580	1,134		1,091		0		0
	② 補正予算	350	0		0		0		0
	③ 繰越予算	0	0		0		0		0
	前年度繰越	0	0		0		0		0
	次年度繰越	0	0		0		0		0
小計(①～③)	930	1,134		1,091		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0		0		0
	② 国支出金	0	0		0		0		0
	③ 府支出金	0	0		0		0		0
	④ 地方債	0	0		0		0		0
	⑤ その他特財	930	1,134		1,091		0		0
決算情報	① 流充用額	43	0		0		0		0
	② 配当予算	973	1,134		0		0		0
	③ 執行額	972	920		0		0		0
	④ 執行率	99.9%	81.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.61/0	1.05	/	0.70	1.05	/	0.70	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,880	10,150		10,150		0		0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,852	11,070		10,150					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	総務費国庫補助金		実績金額	375	決算付属資料	18 頁
	特財名称	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会事務局負担金	種類	雑入		実績金額	544	決算付属資料	48 頁
	特財名称		種類			実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	スタンプラリー福知山光秀ゆかりコース参加者数	人	0	0	595 / 1740	/ 5260	7000		
	署名人数	人	3,226/3,000	296/3,000	— / —	/ —	—		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	大河ドラマPRキャンペーン数(市内)	回	6/10	9/10	7 / 10	/ 10	10		
	単位あたりコスト		102.60	108.00	131.37				
	署名箱設置箇所数(市内)	箇所	13/15	13/15	— / —	/ —	—		
単位あたりコスト		47.40	74.80						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	これまでの大河ドラマゆかりの地においては、多くの観光客の来訪があり、地域経済が活性化したことから、本市においてもこの千載一遇の機会を最大限活かし、大河ドラマ効果を本市産業・商業の発展につなげる必要がある。平成23年から誘致活動を続け、その成果が2020年大河ドラマ「麒麟がくる」につながった。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	各市町が単独で情報発信や誘客活動を行うより、大河ドラマゆかりの地が広域連携することや、各地域においても商工・観光関係団体と連携することにより効率的な事業展開が図れる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大河ドラマゆかりの市町が連携することで、大河ドラマの放送元であるNHKとの連携につながり、より効果的な取り組みを展開することができる。協議会を通じた情報発信・誘客活動によって、観光入込客数を増加させ経済効果を市内に波及することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	お城EXPOin横浜など各種イベント出展・広告出稿による圏域情報の発信、ツーリズムEXPOジャパンin大阪やファミトリップ等を通じた旅行者への旅行造成に向けた働きかけ、NHK京都放送局との連携によるスマホdeスタンプラリーの実施など、本市の観光振興と地域活性化に向けた活動を実施できた。広域の協議会であるため、市内よりも市外での情報発信が中心となることから、福知山城や福知山光秀ミュージアム、明智藪、御霊神社といった本市の大河ゆかりのスポットの市外における認知度向上に寄与したものと評価する。		
これまでの課題及び今後の方向性	大河ドラマ「麒麟がくる」の物語が岐阜エリアで始まったこともあり、大河ドラマゆかりの地の印象が岐阜県優位な状況にあるため、今後は京都・丹波の歴史・文化をさらに発信し、本市のさらなる認知度の向上、誘客促進、周遊対策に重点をおいて事業を展開していく必要がある。一方で、大河ドラマファン層の拡大のためには岐阜県・滋賀県等とも連携し、魅力ある情報を発信し、相互で誘客促進に取り組んでいく。また、大河ドラマ出演者の等身大パネル、VR借用や大河ドラマ関係者のトークショーといったNHK独自コンテンツ活用などNHK京都放送局との連携や首都圏での歴史講座の開催など広域協議会の強みを活かした取り組みをさらに進めていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度末で廃止

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	三和ふれあいフェスティバル事業									
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗		
会計情報	事業コード	130312	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計 決算付属資料 86 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	福知山市三和ふれあいフェスティバル事業補助金交付要綱、福知山市みわ夏まつり事業補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	-									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	三和ふれあいフェスティバル及びみわ夏まつりに補助金を交付する事業である。 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントとして実施する。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。 みわ夏まつりは、三和地域の住民で構成される実行委員会が、三和地域の拠点施設である三和荘を中心として、地域住民及び帰省者の交流やイベントなどを行い地域の活性化を図ることを目的としている。								
対象者	三和地域の市民	対象者数	3,204	単位あたりコスト	1.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	業務委託先: 有限会社チームワーク、株式会社フォールズ ・ 実施主体: 三和ふれあいフェスティバル実行委員会								
事業概要 (簡条書き)	三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 令和2年度よりみわ夏まつりについても補助金の交付を行う。三和地域の拠点施設である三和荘を中心としてステージイベントやビンゴゲーム大会、鉄道模型電動カーこども乗車会、夜店、花火大会を行い地域住民の交流を図っている。 ・令和2年度より 事業見直しにより、事業名を「三和地域活性化事業」に変更。								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	424	交通警備業務、臨時巡回バス及びシャトルバス運行業務						
	負担金補助及び交付金	500	三和ふれあいフェスティバル実行委員会に対する交付金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,000	500	950	950				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	1,000	500	950	950					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,000	500	950	950				
決算情報	① 流充用額	0	424	0	0				
	② 配当予算	1,000	924	0	0				
	③ 執行額	1,000	924	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.34/0	0.24 / 0.10	0.24 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,720	2,170	2,170	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,720	3,094	2,170						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和ふれあいフェスティバル事業基金繰入	種類	地域振興基金繰入金	実績金額	500	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	来場者数	人	4,500	4,000	4,000	/	4,500	/	4,500
	延べ参加団体数	団体	62	64	68	/	65	/	65
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	実行委員会開催回数	回	9/9	9/9	9	/	9	/	9
	単位あたりコスト		122.22	111.11	102.61				
単位あたりコスト		/	/	/					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体から参加費を徴収するなどイベントの財源の一部を確保するよう努めている。 ・地元の資源を利用した効率的な手づくりイベントである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。 ・次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。</p> <p>来場者数は当日の天候にも左右されるが、目的をほぼ達成できていると考える。地域住民の積極的な参加意識・地域おこしの意識を喚起するイベントであることと併せ、地域活性化につながっている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>将来的に極度の人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントであり、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図る。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野高原・道の駅支援事業												
事業担当	所属	地域振興部 夜久野支所					所属長	衣川 正彦					
会計情報	事業コード	220306	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	「森の京都 福知山」マスタープラン							
根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	夜久野高原は京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地であり、風光明媚で史跡にも恵まれている。その観光拠点となる道の駅「農匠の郷やくの」に関する情報を地域内外へ発信することにより、これらへの集客と住民交流を促進する。												
対象者	観光客及び市民	対象者数	22,600	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会												
事業概要 (簡条書き)	夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」において実施されるイベントに対して補助金を交付する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	548	やくの高原まつり実行委員会が実施するイベント経費に対する補助										
	負担金補助及び交付金	154	夜久野農林商工祭実行委員会が実施するイベント経費に対する補助										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	720	702	702	702				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	720	702	702	702					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	360	351	351	351				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	360	351	351	351				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	720	702	0	0				
	③ 執行額	720	702	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55/0	0.36 / 0.00	0.36 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,400	2,880	2,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,120	3,582	2,880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	夜久野高原・道の駅支援事業(きょうと地域連携交付金)	種類	総務費府補助金	実績金額	327	決算付属資料	24	頁
	特財名称	夜久野高原・道の駅支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	351	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		高原まつり来場者数	人	18,000/16,000	14,000/16,000	25,000 / 16,000	/ 16,000
	農林商工祭来場者数	人	6,000/6,600	6,500/6,600	6,500 / 6,600	/ 6,600	6,600
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	やくの高原まつり補助額	千円	576/576	562/562	548 / 548	/ 548	548
	単位あたりコスト		-	-	1.28		
	夜久野農林商工祭補助額	千円	162/162	158/158	154 / 154	/ 154	154
	単位あたりコスト		-	-	4.56		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	実行委員会により実施される地域に定着したイベントだが、自己資金のみでの開催は困難である。道の駅への集客は年々減少傾向にあり情報発信する事業として必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	受益者負担との負担関係について実施団体と協議を進める必要があるが、補助金額に対する集客数は十分と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	一時的な集客には繋がっているが、年間を通しての集客数は減少傾向にある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	各イベント実施による集客数は、ほぼ達成しており評価できる。道の駅「農匠の郷やくの」への集客数については、このイベントが一時的なものであり、年間を通じての集客に繋がっているとは言えない。イベント開催のあり方について、今後も検討していく必要はある。		
これまでの課題及び今後の方向性	道の駅「農匠の郷やくの」への年間の集客増加につなげるため、事業の目的・成果や事業費の補助等については支援団体と十分に協議を行い、効率的かつ有効的にイベントを実施する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○補助金の額は令和2年度と同額とし、協賛金等資金獲得に努めてもらい事業の安定を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	元伊勢八朔祭補助事業												
事業担当	所属	地域振興部 大江支所					所属長	吉田和彦					
会計情報	事業コード	130332	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名						観光客の増加を促進する			
計画期間	開始年度	昭和60年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	500		単位あたりコスト	0.7			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	元伊勢八朔祭練込保存会								
事業概要 (簡潔書き)	「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に補助金を交付する。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要：■実施日：9月の第1日曜日 ■実施場所：大江町天田内・内宮・二俣地内 ■事業内容：奴行列、鳥毛廻し、練込み祭礼								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	60	元伊勢八朔祭補助金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	68	60	60	60	60	60				
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0				
小計(①～③)	68	60	60	60	60	60					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	68	60	60	60	60	60				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0				
	② 配当予算	68	60	60	60	60	60				
	③ 執行額	0	60	60	60	60	60				
	④ 執行率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.02/0.05	0.02 / 0.05	0.02 / 0.05	0.02 / 0.05	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	285	285	285	285	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	285	345	345	285	285	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金		種類	基金繰入金		実績金額	60	決算付属資料	40	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	入込客数	人	500 / 1,500	— / 1,500	500 / 1,500	— / 1,500	1,500		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	1/1	— / 1	1 / 1	— / 1	1		
	単位あたりコスト		70.00		60.00				
	鳥毛廻し参加地区数		3/3	— / —	3 / 3	— / 3	3		
単位あたりコスト		23.30		20.00					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織により京都府伝統的に行催事として長年にわたり継続実施されているが、高齢化また人口減など取り巻く状況は厳しく、祭り継承者の確保が難しくなっている。伝統の継承及び地域活性化において市の支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市補助金に依存する運営とならないよう自主財源や他の助成による運営を促すため、団体との協議により補助金の減額を行ってきている。 ・令和元年度から補助率を事業費の1/2以内とした。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果の入込客数については、目標数値との乖離はあるが、目的である地域文化の継承においては、団体の活動により次代に引き継がれている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対し補助することにより登録無形民俗文化財の継承が行われている。 保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において毎年練り込みが開催され、各地区での伝統的行事の継承と伝統の発信がされており、目的を達成している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口の減による伝統継承者の不足が課題にあり、伝統的に行催事の保存継承者の確保が必要とされる。 ・江戸時代から続く伝統ある催事を守るため伝統的祭事に対して補助を行っているが、令和元年度に補助率の見直しを行い、補助を事業費の1/2以内とする。 ・伝統文化の発信、PRにおいてマスメディア、SNS等のツールの活用また海の京都DMO等組織との連携により効果的な広報に取り組む。 ・保存会の意向を尊重するなか、地域外からの参加協力による伝統的に行催事の保存継承者の確保等について検討する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>京都府伝統的に行催事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承のため、補助金を事業費の1/2以内とし、予算の範囲内において事業を継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	お城で忍者事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	230106	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名 観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和元年度		関連計画名							
根拠法令等	お城で忍者事業実行委員会補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山城の魅力を全国に発信する。		
対象者	イベント参加者	対象者数	50
		単位あたりコスト	48.0
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	お城で忍者事業実行委員会		
事業概要 (箇条書き)	■福知山城の魅力を全国に発信することを目的として、忍術大会及び忍術体験会を開催する。 実行委員会を組織し企画運営を行い、まちづくり団体や市民ボランティアの協力で競技に関する大道具・会場運営を行い、市民協働で実施する。 実行委員会:福知山観光協会、尼子騷兵衛事務所(忍たま乱太郎の原作者「尼子騷兵衛」事務所)、福知山市で構成。 主な事業:「忍たま武道大会」や「忍者でまちぶら」を実施。 令和元年度の「忍者でまちぶら」は、警報発令のため中止。		
主な支出に係る 業務内容と経費		支出実績(R1)	主な業務内容
	役務費	1	通信運搬費

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	604	394	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	604	394	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	38	0	0	0	
	② 国支出金	0	179	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	566	215	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 9	0	0	0	
	② 配当予算	595	394	0	0	
	③ 執行額	567	1	0	0	
	④ 執行率	95.2%	0.2%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,400	2,400	2,400	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,967	2,401	2,400			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		メディア取材件数	回	8 / 9	0 / 9	0 / 9	/ -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施回数	回	1 / 1	1 / 2	1 / 2	/ -	-
	単位あたりコスト		449.00	567.00	0.91		
	応募者人数	人	102 / 100	38 / 100	57 / 100	/	-
	単位あたりコスト		4.40	14.92	0.02		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	事業開始初期において福知山城を全国にPRするためアニメキャラクターや原作者の影響力を活用して事業を展開。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	予算の範囲内で市民の協力も得ながら実施。年々参加数は減少傾向となっていた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業開始初期は忍者大会等のイベントによる福知山城のPRは有効に機能。平成30年度以降は「明智光秀築城の城」としてのPR戦略に移行している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			令和元年度は台風等大雨警報発令により「忍者でまちぶら」は中止となったが、平成31年4月のお城まつりの一つのプログラムとして「光秀忍たま武道大会」の開催により、子どもたちに福知山城のPRができた。
これまでの課題及び今後の方向性			事業開始当初は「忍たま乱太郎」のアニメや原作者の尼子騷兵衛氏の全面的な協力によりイベントを行い、イベントの情報とともに事業目的である福知山城や福知山市のパブリシティの獲得ができた。一方で20年以上継続したイベント、「くノ一武道大会」など忍たま乱太郎原作者の全面的な協力が得られにくいことや参加者数の減少など事業継続に課題があり、令和元年度に福知山観光協会と尼子騷兵衛事務所と協議し、令和2年度より実行委員会事務局を観光協会に移管。今後お城まつりの中のプログラムの一つとして予算を伴わず市民の協力も得ながら子どもをターゲットとした取り組みを継続していく。

VI 他部署評価

事中事業評価	
事後事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業開始当初は「忍たま乱太郎」のアニメや原作者の尼子騷兵衛氏の全面的な協力によりイベントを行い、イベントの情報とともに事業目的である福知山城や福知山市のパブリシティの獲得ができた。一方で20年以上継続したイベント、「くノ一武道大会」など忍たま乱太郎原作者の全面的な協力が得られにくいことや参加者数の減少など事業継続に課題があり、令和元年度に福知山観光協会と尼子騷兵衛事務所と協議し、令和2年度より実行委員会事務局を観光協会に移管。今後お城まつりの中のプログラムの一つとして予算を伴わず市民の協力も得ながら子どもをターゲットとした取り組みを継続していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	日本鬼文化交流事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	130117	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 184 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	酒呑童子祭り事業補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	大江山酒呑童子祭りを通じて全国に鬼伝説が残る「福知山市大江町の鬼」を情報発信するとともに、「日本鬼師の会」の活動を支援することにより、有形の鬼瓦や、無形の鬼伝説を観光・交流コンテンツとして大江地域の活性化を図る。また鬼に関係する市町(兵庫県川西市、静岡県小山町)との相互交流により絆を深める。								
対象者	酒呑童子祭り来場者	対象者数	1,500	単位あたりコスト	1.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	大江山酒呑童子まつり実行委員会、日本鬼師の会、(有)チームワーク								
事業概要 (簡条書き)	・大江山酒呑童子祭り実行委員会に対する事業費支援 ・日本鬼師の会に対する活動支援								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	8	普通旅費						
	委託料	23	バス運転業務委託						
	負担金補助及び交付金	1,100	補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,591	2,134	1,744	2,244				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,591	2,134	1,744	2,244					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,591	2,134	1,744	2,244				
決算情報	① 流充用額	△ 67	△ 106	0	0				
	② 配当予算	2,524	2,028	0	0				
	③ 執行額	2,521	1,131	0	0				
	④ 執行率	99.9%	55.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.1/0	0.15 / 0.00	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	800	1,200	1,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,321	2,331	1,200						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	1,108	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/500,000	1,050,000
大江山酒呑童子祭参加者	人	中止/2,500	2,500 / 2,500	1,500 / 2,500	/2,500	2,500	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	日本鬼師の会大会・理事会	回	3 / 4	3 / 4	2 / 4	—	4
	単位あたりコスト		224.00	840.30	565.46		
	鬼にかかわる相互交流	回	3 / 6	3 / 6	3 / 6	—	3
単位あたりコスト		224.00	840.30	337.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大江町の鬼伝説や鬼瓦を交流コンテンツとして活用した事業であり、大江地域の個性を活かした地域づくりには必要である。収益性が低く民間事業者は参入しにくい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	住民組織の中でイベント参加負担金や協賛金を募り経費削減と財源確保について意識が高い。しかしながら自主財源が乏しく何らかの支援は必要。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	イベント自体は30年以上の活動実績があるが、イベント自体のマンネリ化は避けられず、先進的事例など調査が不足している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	日本鬼師の会全国研修大会では、福知山城の瓦をはじめとする内容の講演や日本の鬼の交流博物館において全国各地の鬼師が作成した作品を展示することで幅広い世代に鬼瓦文化に親しんでもらえる機会となったが高齢化により活動は令和元年度をもって休止された。大江地域の地域づくりや地域の醸成の一体化においては事業の目的からも達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助金での事業実施のため、大江山酒呑童子祭り実行委員会が継続的に事業を実施していくには自主財源の確保が課題。日本鬼師の会は、後継者の確保が課題となっており当会は令和元年度をもって活動を休止とされた。「鬼力の由良川夏まつり」と「酒呑童子祭り」を大江の夏、秋イベントとして実施していくことで、大江地域の一体化と地域に訪れる交流人口の拡大による活性化また持続可能なまつりとなるよう大江まちづくり住民協議会の中で主体的に検討を行っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	「鬼力の由良川夏まつり」と「酒呑童子祭り」を大江の夏、秋イベントとして実施していくことで、大江地域の一体化と地域に訪れる交流人口の拡大による活性化また持続可能なまつりとなるよう大江まちづくり住民協議会の中で主体的に検討を行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	観光おもてなし促進事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230101	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 184 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	一般市民を対象とした観光ガイド養成講座を開催し、観光客の方に歴史・文化・観光スポット等、本市の魅力をより効果的に案内することができる観光ガイドを養成する。									
対象者	ディスカバーウエストハイキング参加者	対象者数	266	単位あたりコスト	4.5					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (簡条書き)	○本市への来訪者を市民自らがもてなす「まちづくり観光」を実践するため、観光ガイド養成講座を実施する。 ○JR西日本との連携によるディスカバーウエストハイキングを実施する。									
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	報償費	393	報奨金							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	421	402	402	402				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	421	402	402	402					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	421	402	402	402				
決算情報	① 流充用額	0	△ 6	0	0				
	② 配当予算	421	396	0	0				
	③ 執行額	368	393	0	0				
	④ 執行率	87.3%	99.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.10 /	0.10 /	0.00 /	0.00 /	0.00		
	② 概算人件費	400	800	800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	768	1,193	800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	329	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光ガイド数	人	29/30	35/30	42/30	/30	30
受講者数	人	18/30	8/30	27/30	/30	30	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	養成講座実施数	回	6/6	7/7	8/7	/7	7
	単位あたりコスト		64.00	52.50	49.50		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	おもてなしの心をもって福知山の魅力を十分に案内することで、観光客の満足度を高め、何度も福知山を訪れていただくためのおもてなしプランを市として充実させている。また、ディスカバーウエストハイキングは、JR西日本が事業として広報し、観光協会や観光ボランティアガイドが観光客に観光スポットをより魅力的に伝え、地域資源を活性化させるために実施している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	ガイドツアーが催行された場合におけるガイド団体謝金であり最小限度の支出をしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ガイド養成講座の実施により、ガイド人材確保と観光客の満足度を高め、リピーターとして訪れてもらうよう、ガイドの質の向上を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	サポート会員新設などにより、目標のガイド人数は到達し、維持することができている。ディスカバーウエストハイキングについては、聞いてみないと分からない地域の魅力を定期的に発信する場として、また地元の方が自分の言葉で伝える貴重な場である。毎年平均約200名の個人での申し込みがありニーズもあることから有効な手段である。		
これまでの課題及び今後の方向性	講座を修了された方が実際にガイドとして活躍されるのは少人数であり、受講者に対してのフォローが必要である。また、現役ガイドの高齢化が進んでおり、新たな観光ガイドの育成が急務である。観光協会が事務局を持ち市の受託事業として実施していくことが最も効果的である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	観光振興一般管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治					
会計情報	事業コード	230125	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184・186	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名	観光客の増加を促進する								
計画期間	開始年度	平成1年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	観光振興業務を円滑に執行する。		
対象者	—	対象者数	—
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等			
事業概要 (簡条書き)	観光振興業務を円滑に行うための内部事務経費		
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	旅費	334	普通旅費
	需用費	56	修繕費
	役務費	485	通信運搬費
	使用料及び賃借料	48	高速道路使用料
	負担金補助及び交付金	1,035	負担金

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,300	1,575	1,750	1,691				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,300	1,575	1,750	1,691					
予算財源内訳	① 一般財源	1,265	1,540	1,715	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	35	35	35	23				
決算情報	① 流充用額	1,297	417	0	0				
	② 配当予算	2,597	1,992	0	0				
	③ 執行額	2,597	1,958	0	0				
	④ 執行率	100.0%	98.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.50 /	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,400	4,000	4,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,997	5,958	4,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光テレホンカード	種類	物品売払収入	実績金額	1	決算付属資料	34	頁
	特財名称	福知山十景絵葉書	種類	物品売払収入	実績金額	17	決算付属資料	34	頁
	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	商工費府補助金	実績金額	46	決算付属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	連携する広域観光団体	団体	3/3	3/3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		626.30	865.70	652.55	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光行政全般の事務経費であり、関係団体との連携や各施設の維持管理を適正に実施するため必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	海の京都や森の京都と連携しながら、観光プロモーションなど単独でできないことはスケールメリットをいかし広域で取り組んでいる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	DMO以外の観光団体に関する負担金の予算を計上し毎年定額を支払っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	観光振興を進めるための経費、かつ観光入込客数を増加させるためには必要な事業である。各自治体や各種観光団体と連携することで福知山への入込客数増加に繋がっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	近年、DMOが地域に設立され、自治体も参画している。これまで加入されてきた広域観光団体を脱退されるなど、市町の状況にも変化が出てきている。本市においても、2つのDMOへの参画を始め、これまで加入している京都府広域観光連盟や北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会などがあり、連携をさらに強化していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	福知山踊り振興事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230130	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名				
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	福知山ドッコイセまつり事業補助金・ドッコイセフェスティバル事業補助金									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の各団体に対して、福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」等の関連イベントの活性化を図り踊り、参加者増加や観光誘客につなげる。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	10,500	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山踊り振興会、福知山ドッコイセまつり実行委員会								
事業概要 (簡条書き)	○「福知山ドッコイセまつり実行委員会」への補助金 【福知山ドッコイセまつり】 実施日：8月14日(水)～16日(金)、24日(土)、25日(日) 実施場所：広小路通り、御霊神社、福知山駅北口公園 ○「福知山踊り振興会」への補助金 【ドッコイセフェスティバル】 実施日：8月3日(土) 実施場所：厚生会館 ○市内の各団体からの要望により福知山踊りの講師を派遣する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	371	業務委託料						
	負担金補助及び交付金	1,580	補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,101	2,365	1,945	2,806	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	5,101	2,365	1,945	2,806		
予算財源内訳	① 一般財源	5,101	2,365	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	1,945	2,806	
決算情報	① 流充用額	△ 228	△ 414	0	0	
	② 配当予算	4,873	1,951	0	0	
	③ 執行額	4,676	1,951	0	0	
	④ 執行率	96.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0	0.10 /	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	640	800	800	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,316	2,751	800			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	受講者数	人	1815 / 1500	2124 / 1500	2,048 / 1,500	/1,500	1,500
踊り参加者	人	7600 / 9000	11300 / 9000	10,500 / 9,000	/9,000	9,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	派遣回数(単価契約)	回	37 / 45	44 / 45	39 / 45	/45	45
	単位あたりコスト		9.50	9.50	9.50		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向け、福知山踊りの振興と発展、次代への継承のため、団体を市が支援する必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最小限の経費の支出としており、福知山ドッコイセまつり事業補助金は令和元年度に500千円の減額を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	講師派遣については、特に保育園・小学校からの要望が多く、伝統文化である「福知山踊り」を次世代へ継承していくために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市の伝統文化を保存・継承する役割を果たしている。福知山踊り講師派遣については毎年、年間約40件程度派遣があり、参加総人数も2000人で推移していることから一定ニーズがある。		
これまでの課題及び今後の方向性	ドッコイセ花火大会が開催されていた時代は、花火大会も含めイベントとして観光担当部署が所管していた。ドッコイセまつり自体はイベント行事であるためこのまま産業観光課の所管で問題はない。しかしながら、福知山踊りの歴史的背景や子どもから高齢者まで踊り文化の伝承といった側面がある。踊りの伝承である講師派遣事業については、文化振興活動であり、所管の整理も必要。		

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	福知山お城まつり支援事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230147	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ交流人口の拡大を目指す。								
対象者	観光客及び市民	対象者数	30,000	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山お城まつり実行委員会								
事業概要 (簡条書き)	「福知山お城まつり実行委員会」への補助金 【福知山お城まつり】 事業内容:食の祭典、福知山踊りパレード、光秀行列等 実施日:4月13日(土)、14日(日) 実施場所:広小路通り、御霊神社、福知山城								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	3,000	補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,000	3,000	3,000	4,000				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,000	3,000	3,000	4,000					
予算財源内訳	① 一般財源	3,000	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	3,000	3,000	4,000				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	3,000	3,000	0	0				
	③ 執行額	3,000	3,000	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0	0.11 /	0.11 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	480	880	880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,480	3,880	880						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	3000	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	イベント入込客数	人	12,000/12,000	11,000/12,000	10,000 / 12,000	/12,000	12,000
観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086/980,000	1,116,577 / 1,000,000	/500,000	1,050,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	光秀行列	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/	
	単位あたりコスト		3000.00	3000.00	3000.00		
	開催日数	日	2/2	2/2	2 / 2	/	
単位あたりコスト		1500.00	1500.00	1500.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	本市のシンボルである「福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の個性と魅力を継承・発信し、交流・集客の促進につなげていくことができる事業である。市として「福知山お城まつり実行委員会」を支援する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	平成21年度から類似事業であった「城フェスティバル」と統合された。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。また、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図るものとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			「福知山お城まつり」は福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客の増加や賑わい創出に寄与している。また、本市のシンボルで明智光秀ゆかりの福知山城や御霊神社のPRにも役立っている。
これまでの課題及び今後の方向性			福知山市の春を代表するイベントであり、その誘客効果と本市のPR効果は高い。大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を機に、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図る。財源確保や同時期開催イベントとの連携を検討しつつ継続して事業を実施するため、平成29年度から収支決算状況を精査し補助金額を減額した。

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施した上で実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性														
事業名	観光友好都市交流事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230166	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名						観光客の増加を促進する				
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成24年に「観光友好都市連携」及び「災害時における相互応援協定」を締結した。大江山の酒吞童子伝説とゆかりのある金太郎の生誕地 静岡県小山町と観光分野における地域交流を通して住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため交流を促進し将来にわたる絆を深める。								
対象者	交流事業参加小中学生	対象者数	25		単位あたりコスト	83.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									

事業概要 (箇条書き)	○「夏休み富士山チャレンジ自然体験」の実施 事業内容: 富士登山と小山町との交流 参加対象: 市内の中学1~3年生 実施日: 8月5日(月)~7日(水) ○「鬼伝説交流事業」の実施 事業内容: 小山町の児童を本市に招き、本市の子どもたちと交流を図る 参加対象: 市内の小学5, 6年生 実施日: 8月3日(土)~5日(月) 平成29年度に大江支所「観光友好都市鬼伝説交流事業」を統合								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容					
	旅費	30	普通旅費					
	需用費	5	消耗品費					
	役務費	30	手数料					
	使用料及び賃借料	832	施設使用料、自動車借り上げ料					

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,142	1,082	1,227	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	1,142	1,082	1,227	0	
予算財源内訳	① 一般財源	832	0	221	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	310	1,082	1,006	0
決算情報	① 流充用額	△ 682	△ 158	0	0
	② 配当予算	460	924	0	0
	③ 執行額	431	897	0	0
	④ 執行率	93.6%	97.1%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.15 /	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,400	1,200	1,200	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,831	2,097	1,200		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	友好都市交流参加者負担金	種類	雑入	実績金額	56	決算付属資料	46	頁
	特財名称	観光友好都市交流事業参加者負担金	種類	雑入	実績金額	200	決算付属資料	48	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	富士山登山参加数	人	16	14	14	—	14
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	最終目標	
	実施回数	回	2/2	1/2	2 / 2	/	
	単位あたりコスト		291.00	431.00	448.64	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	H30から富士山登山参加者から負担金を徴収して財源確保を行っている。 鬼文化交流事業と合わせて令和元年度ふるさと納税型クラウド・ファンディングを実施した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	市民(小学生、中学生同士)が交流することにより、両市町の親交を更に深めることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。 募集については、各中学校へ案内を配布、参加申込は毎年30名程度を受付している状況であるが、参加は受入先の態勢で14名である。 (夏休み富士山チャレンジ自然体験)		
これまでの課題及び今後の方向性	受け入れ先の関係上、14名が限度とされ、毎年30名程度の応募があるが結果的に一部の中学生の富士山登山に係る経費の負担となっている。 長時間移動や山小屋での宿泊、富士山特有の密集状態での登山など3密を避けることが今後もできないことから、翌年度以降小山町と事業自体の在り方について検討を行う。行政間での総合調整を行い、人的交流以外にモノ、金、情報などの交流ができる仕組みづくりを考えていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中事業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	富士山登山に係る新型コロナウイルス感染拡大防止対策が未定であり、迎え入れる子どもたちの安全、衛生確保が困難なため、今年度事業を一旦休止し、関係市町と今後の在り方について協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	福知山観光地域づくりセンター運営事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230184	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	海の京都DMO事業、森の京都DMO									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	『北近畿の玄関口としての特性を活かし、市民主体で持続可能な観光コンテンツをつくる』を戦略テーマとし、過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを進める。								
対象者	上六人部地区、三岳地区、大原地区	対象者数	2,000	単位あたりコスト	6.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社localize								
事業概要 (箇条書き)	上六人部地区:上六人部活性化協議会を中心にAtoZでまとめた地域の魅力を内外に発信するまち歩きイベントの実施や農業体験を通じて地域の魅力を知る体験コンテンツの造成を行い、交流人口や関係人口の拡大による観光地域づくりを計画。 三岳地区:里の駅みたけを核として、かかしづくり体験のコンテンツ化と特産品のブラッシュアップ、販路開拓の支援。農泊も絡めた体験商品の造成を行う。 大原地区:大原ウエディング事業の商品化								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	75	委員報償						
	委託料	8,690	観光地域づくり戦略マネジャー・地域づくり担当業務						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,138	8,784	6,794	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	13,138	8,784	6,794	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	6,569	4,392	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	6,569	4,392	3,440	0				
決算情報	① 流充用額	△ 283	0	0	0				
	② 配当予算	12,855	8,784	0	0				
	③ 執行額	12,777	8,765	0	0				
	④ 執行率	99.4%	99.8%						
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.4/0	0.45 / 0.00	0.45 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,200	3,600	3,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,977	12,365	3,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	4,345	決算付属資料	20	頁
	特財名称	地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額	4,420	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000	1,050,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	事業着手地区数	回	2/ 3	3/ 3	3 / 3	/	2	3地区の自走化
	単位あたりコスト		6505.00	4259.00	2921.67			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域資源を観光という視点で見つめ直し、交流人口や関係人口を拡大させることによって、持続可能な地域づくりを展開する上で必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	地域が主体的に取り組むことが必須条件であり、一定期間の試行時間等がかかるため、必然的にコストはかかるが、民間事業者を繋げることで地域資源を観光コンテンツ化できるとともに民間事業者との連携による効果的かつ効率的な事業運営が可能となる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	この事業を有効に機能させるためには、まず地域が主体的に取り組むことが不可欠であり、一定期間継続して取り組む必要があるが、地域によっては、事業継続が出来ない場合もあるため見極めが必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>事業着手地域においては、地域資源の見直しを進められるなど地域が主体となり、機運の醸成ができた。持続可能な住民主体による事業展開を目指すことを目的としており、3地区で取り組みを進めたところ1地区が自走化できた。今後についても観光を切り口とした地域主体で持続可能な事業展開を行う理念は継続していく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>本事業を地域住民が主体的に取り組むにはまず、地域の中での人材が必要不可欠である。また地域と団体等を繋ぐコーディネート人材も必要である。今後観光地域づくりを更に機動的に効果を発揮させるためには、海の京都DMOなどが事業主体となり、開発したコンテンツの販売を促進させていくことが必要。市が地域を指定し事業実施してきているため、地域住民の主体性が低くなる傾向であった。今後地域からの要望に対して支援策を提案するといった公募形式も検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>事業期間を概ね3年と定め、地元協議のもと事業を実施した。観光地域づくりセンター運営事業では地域資源を活用し、体験型コンテンツの造りができた。今後海の京都DMOや森の京都DMOも観光地域づくりの視点をもって圏域内で事業展開を計画されており、本事業を廃止し今後DMOを中心に連携する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	「肉のまち福知山」事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治		
会計情報	事業コード	230186	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計 決算付属資料 186 頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する						
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	肉まち協議会補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	まちなかフェスティバル									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	かつて西日本の三大家畜市場が存在し、全国の流通を支えた歴史的な背景から、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く存在している。食文化としての肉を新たな観光コンテンツとし「肉のまち福知山」を食のイベントに絡めてPRすることで観光振興による地域活性化を図る。								
対象者	近隣市町の市民及び福知山市民	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山肉まち協議会								
事業概要 (簡条書き)	○福知山肉まち協議会に対する活動支援経費 【ふくちやまMEET×MEATフェスティバル2019】 事業内容: 飲食ブースの出店(29店舗) 実施日: 10月27日(日) 実施場所: 福知山駅北口広場								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,800	補助金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000	1,800	1,255	2,110				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,000	1,800	1,255	2,110					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	1,000	900	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,000	900	655	2,110				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	2,000	1,800	0	0				
	③ 執行額	2,000	1,800	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.42/0	0.35 /	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,360	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,360	4,600	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	900	決算付属資料	20	頁
	特財名称	ふるさと納税基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	900	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000
イベント参加者数	人	中止	7000 / 3000	10,000 / 3,000	/	3,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施回数	回	0 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		0.00	2000.00	1800.00	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	「肉のまち福知山」として食イベントによる福知山をPRする中心的な事業であり、交流人口の拡大と観光消費額増加に効果がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	出店料を徴収する仕組みとし、財源の確保に努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	令和元年度は10,000人の来場者があり、広く「肉のまち福知山」をPRできた。直前にテレビ番組で告知ができたこともあり、府外からも来場者があった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	H30は来場者約7,000人、R1は来場者約10,000人と増加しており、新たな観光コンテンツ「肉のまち福知山」が浸透しており、交流人口の拡大に寄与している。また、イベントを機に店舗を訪れる人の流れができるなど、参加事業者からも評価を受けている。		
これまでの課題及び今後の方向性	イベントだけでなくとどまらず、恒常的に「肉のまち福知山」を感じられる仕組みづくりやPRが必要。補助金終了後の組織体制づくりを民間主導で行うなど取り組みが課題。今後も食というコンテンツとしてPRするとともに、観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業期間を3年間としている。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止した。今年度最終年とし、新型コロナウイルス感染防止対策を行いイベントとクーポン等の事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	海の京都DMO事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230344	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名						観光客の増加を促進する				
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	森の京都DMO事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施													
対象者	観光入込客	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	海の京都DMO													
事業概要 (簡条書き)	一般社団法人京都府北部連携都市圏振興社(海の京都DMO)への負担金 インバウンドプロモーション、着地型観光旅行造成、ランドオペレート、特産品販売、マーケティング調査、観光地域づくり人材の育成													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容											
	負担金補助及び交付金	11,288	負担金											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,851	11,288	11,419	11,172				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	11,851	11,288	11,419	11,172					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	4,338	4,068	0	3,995				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	7,513	7,220	7,305	7,177				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	11,851	11,288	0	0				
	③ 執行額	11,851	11,288	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.2/0	0.20 /	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,600	1,600	1,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,451	12,888	1,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	4,068	決算付属資料	20	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	7,220	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1116577 / 1,000,000	/	500,000	1,050,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	特産品販売額	万円	1,100/2,000	691/2,000	631 / 2,000	/	2,000	2,000
	単位あたりコスト		10.74	17.10	10.10	/		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光による地域経済の活性化と地域づくりを継続していくためには日本版DMOといった法人化による組織は必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	民間主導につなげる仕組みがDMOとして必要であり、海の京都DMOでは今後5か年の中期戦略を令和2年度で策定し効率を求めた経営改善を図る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	圏域のプロモーション活動などにおいてはスケールメリットをいかせることから観光による地域振興の取組みとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>○北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [R1主要事業] ・継続的データ収集・整備・分析 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・情報発信・プロモーション 等</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>事業費の市町負担、運営形態など今後調整を要する事項が多く関係市町と連携しつつ注視する必要がある。 今後DMO福知山地域本部(福知山観光協会)とDMO総合企画局との業務分担など明確にしながら、地域が稼ぐ仕組みづくりと持続可能な組織体制の確立を目指し協力して旅行造成や情報発信など連携強化をさらに図っていく必要がある。 市として観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていくが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大による影響で減少すると見込んでいる。</p>		
事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	森の京都DMO事業													
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	大西 孝治						
会計情報	事業コード	230345	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名						観光客の増加を促進する				
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名							
根拠法令等														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市協調実施)													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	海の京都DMO事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府中部地域(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、生命と文化を育んできた「森」を多面的な角度から、観光資源として捉え、観光地域づくりを推進し国内外の観光交流による地域活性化を図る。													
対象者	観光入込客	対象者数	1,116,577		単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	森の京都DMO													
事業概要 (箇条書き)	一般社団法人 森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する負担金 森の京都が実施する主な事業 インバウンド対策(ファミトリップ、プロモーション)、ローカルガイド講座、着地型旅行造成・販売、マーケティング調査、観光地域づくり人材支援等													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容											
	負担金補助及び交付金	9,124	負担金											

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,552	9,124	9,118	8,952				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	9,552	9,124	9,118	8,952					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	3,666	3,337	0	3,226				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	5,886	5,787	5,798	5,726				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	9,552	9,124	0	0				
	③ 執行額	9,552	9,124	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17/0	0.50 /	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,360	4,000	4,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,912	13,124	4,000						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	商工費国庫補助金	実績金額	3,150	決算付属資料	20	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	観光入込客数	人	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	1,116,577 / 1,000,000	/	500,000
		0	/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	地域人材育成研修回数	回	5/8	43532	3 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		2020.00	3184.00	3,041		
	観光コンテンツ造成		/	/	/ -	/ 3	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	観光による地域経済の活性化と地域づくりを継続していくためには日本版DMOといった法人化による組織は必要。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	民間主導につなげる仕組みがDMOとして必要であり、森の京都DMOでは今後5か年の中期戦略を令和2年度で策定し効率を求めた経営改善を図る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	圏域のプロモーション活動などにおいてはスケールメリットをいかせることから観光による地域振興の取組みとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	当該DMOにおいて以下の取組みが実施されており、圏域での観光誘客が図られた。 <令和元年度 事業抜粋> 国内外プロモーション(森の京都の主導による亀岡市及び大津市と連携した東名阪エリアの旅行会社キャラバンの実施 等) マーケティング調査(スマートフォンを活用したアンケート調査の実施 等) 着地型旅行商品開発・販売(市内イベントを観光目的としたツアー造成 等) 他		
これまでの課題及び今後の方向性	インバウンド対策も行いながら、ウィズコロナ社会を見据えたマイクロツーリズムなどDMO自体が事業の見直しを実施された。各DMOと協力しつつ観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていく方針であるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少すると見込んでいる。		

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	
--------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大呂自然休養村管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	220211	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	大呂自然休養村整備事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。								
対象者	上川口地域住民	対象者数	1,451	単位あたりコスト	14.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(株)丹波悠遊の森協会								
事業概要 (箇条書き)	指定管理者が持つ経営等の民間ノウハウを活用し、宿泊、グラウンドゴルフ、キャンプ等への集客を図り、効率的に施設の管理運営を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	14,100	指定管理料						
	補償、補填及び賠償金	2,099	不可抗力によって発生した費用等の補償						
	役員費	89	建物総合共済基金分担金						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	17,088	14,365	9,092	5,115						
	② 補正予算	61	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0	0						
小計(①~③)	17,149	14,365	9,092	5,115							
予算財源内訳	① 一般財源	17,029	14,222	8,949	4,972						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	120	143	143	143						
決算情報	① 流充用額	30	2,099	0	0						
	② 配当予算	17,179	16,464	0	0						
	③ 執行額	17,179	16,288	0	0						
	④ 執行率	100.0%	98.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.14 / 0.00	0.55 / 0.00	0.55 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	1,120	4,400	4,400	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,299	20,688	4,400								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)		種類	農林使用料		実績金額	143	決算付属資料	10	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	0/0	896/1,600	1,139 / 1,680	/ 1,760	1,840		
	上記以外の施設利用者数	人	/	7,550/11,400	9,115 / 12,600	/ 12,800	15,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設開館日数	日	311/311	315/311	302 / 311	/ 311	311		
	単位あたりコスト		51.82	54.50	53.93				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	農村地域へ都市住民を誘客し、地域の活性化を図る施設であることから、市が指定管理施設として民間の能力を活用しつつ、サービスの向上、経費の削減等を図り、運営する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	指定管理者制度を取り入れることで、民間のノウハウによる施設利用者の増加やコスト削減を行い、市の直営ではできない施設運営の効率化を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と複合して運営することで、施設利用者の増加が図られ、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度の宿泊利用者数は、目標の1,680人に達することができなかったが、実績の1,139人は前年度比243人の増加であった。また、宿泊者の8割超が市外からの利用者であった。以上から、豊かな自然環境の中で農村と都市住民との交流の促進と地域の活性化を図るとした目的に沿った利用があったものと一定の評価ができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	指定管理1年目の平成30年度は豪雨による災害、また、2年目の令和元年度には新型コロナウイルス感染症の拡大と連続して休業を余儀なくされ、施設利用者数に影響があった。方向性としては、設置目的である「農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る」ために、指定管理期間5年間で大呂自然休養村センターの運営基盤を確立し、安定した経営が図れるよう支援を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	指定管理者との連携を図り、可能な範囲で支援を行う。予算要求方針としては、債務負担行為に基づき指定管理料を支出する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	こぶし荘管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	220212	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	166・168	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市こぶし荘条例、同施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農村研修集会施設研修等管理事業/北陵総合センター施設除却事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨災害により被災し、営業休止したこぶし荘の維持管理を行うとともに、今後の施設方針を決定する。								
対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	599	単位あたりコスト	3.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	北陵地域公民館運営協議会								
事業概要 (箇条書き)	営業休止後、直営施設となったこぶし荘の施設維持に必要な経費(上下水道料、建物総合共済基金分担金)を支出。急傾斜地や広大地を含む敷地の除草業務を実施。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	292	除草業務						
	需用費	16	上下水道料						
	役員費	14	建物総合共済基金分担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,033	611	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	3,673	0	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(①~③)	6,706	611	0	0	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	6,706	606	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	5	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 222	△ 100	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	6,484	511	0	0	0	0	0	0
	③ 執行額	5,562	321	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率	85.8%	62.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.55 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,400	2,000	0	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,962	2,321							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	13	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用者数	人	8,103/9,000	1,673/9,200	0 / 0	/	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設会館日数	日	359/359	97/359	0 / 0	/	-		
	単位あたりコスト				/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高圧受電設備等を保持する施設であるため、適切な維持管理を行うために市が取り組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設を維持していく上で必要最低限の業務経費を計上しているものであり、妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	施設の維持管理を適切に行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域住民や関係機関との協議により、施設の今後のあり方を決定し、用途廃止するまで必要最小限の経費で維持管理を行った。[定性的評価]		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度に用途廃止(取壊し)を行うため、令和元年度をもって事業を廃止する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>平成30年7月豪雨災害の影響による営業休止、また平成31年2月に指定管理施設あり方検討部会からの「宿泊機能廃止」表明を受け、地域の活動拠点であったこぶし荘の将来性については地域住民との協議を重ねてきた。その結果、こぶし荘は廃止し取壊し後、解体跡地に新たな地域公民館を建設することとなった。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	北陵総合センター災害復旧事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード	220220	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市こぶし荘条例、同施行規則、福知山市山村基幹集落センター条例、同施行規則、福知山市公民館条例、同施行規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	北陵総合センター施設除却事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨により被災した施設の復旧を行い、施設の設置目的の遂行を図る。								
対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	599	単位あたりコスト	38.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事発注)								
委託先・実施主体等	(株)東光コンサルタンツ京都北営業所、(株)衣川組								
事業概要 (箇条書き)	平成30年7月豪雨災害により北陵総合センターの敷地法面が崩落したことで、建物周辺を含め広範囲にわたり地割れが生じたことから、復旧工事を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	12,100	災害復旧工事(前払金)						
	委託料	8,750	測量設計業務						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	12,000	33,500	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 10,239	△ 11,161	21,400	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	10,239	21,400	0	0	0	0	0
次年度繰越	△ 10,239	△ 21,400	0	0	0	0	0	0	
小計(①~③)	1,761	22,339	21,400	0	0	0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,961	39	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	△ 200	22,300	21,400	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	644	853	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	2,404	23,192	0	0	0	0	0	0
	③ 執行額	2,404	20,850	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率	100.0%	89.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.15 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,200	2,000	2,000	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,604	22,850	2,000	0	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	北陵総合センター災害復旧事業(過年・単独)	種類	災害復旧債	実績金額	12,100	決算付属資料	54	頁
	特財名称	北陵総合センター災害復旧事業(現年・単独)(繰越明許費分)	種類	災害復旧債	実績金額	8,700	決算付属資料	54	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	設計業務完了件数	件		1/1	- / -	/ -	-		
	復旧工事完了件数	件		0/0	0 / 1	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	設計業務発注件数	件		1/1	- / -	/ -	1		
	単位あたりコスト			2404.08					
	復旧工事発注件数	件		1/1	1 / 1	/ -	1		
単位あたりコスト				20850.16					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	既存施設は解体し新たに地域公民館を整備することとなるが、被災した状態では施設の解体工事を実施することができないため、安全性確保の観点からも必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	広範囲にわたる法面の復旧工事となるため、経済性・安全性に優れた復旧工法を選定し、必要最低限の復旧工法を採用した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	法面の復旧により、地域の活動拠点としての北陵地域公民館の整備を効果的に図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	復旧工法の選定にあたっては、経済性・安全性を考慮し、切土のみの施工を採用したため敷地面積が減少することとなるが、建物の解体工事を実施するためにも法面の復旧は不可欠である。		
これまでの課題及び今後の方向性	法面復旧工事は、適正な工期確保のため繰越手続きを行うが、令和2年度内完成を目指した工程管理により実施する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度中に復旧工事が完了したため、事業廃止とする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	大呂自然休養村センターキャンプ場災害復旧事業													
事業担当	所属	産業政策部 農政課					所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220222	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁	
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する										
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名									-
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨により被災した施設の復旧を行い、施設の設置目的の遂行を図る。								
対象者	上川口地域住民	対象者数	1,451	単位あたりコスト	3.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事発注)								
委託先・実施主体等	(株)梅田組								
事業概要 (簡条書き)	平成30年7月豪雨災害により被災した、大呂自然休養村センターキャンプ場及び親水公園の復旧工事を実施する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	3,462	災害復旧工事						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0		
	② 補正予算	5,500	0	0	0	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	△ 3,667	3,667	0	0	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	3,667	0	0	0	0	0	0		
	次年度繰越	△ 3,667	0	0	0	0	0	0	0		
小計(①~③)	1,833	3,667	0	0	0	0	0	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	△ 67	67	0	0	0	0	0	0		
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	0		
	④ 地方債	1,900	3,600	0	0	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	367	0	0	0	0	0	0	0		
	② 配当予算	2,200	3,667	0	0	0	0	0	0		
	③ 執行額	2,200	3,462	0	0	0	0	0	0		
	④ 執行率	100.0%	94.4%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.20 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,600	1,040	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,800	4,502	0	0	0	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	大呂自然休養村センターキャンプ場災害復旧事業(現年・単独)(繰越明許費)		種類	災害復旧債		実績金額	3,400	決算付属資料	54	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	災害復旧完了件数	件		0/1	1 / 1	/ -	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	災害復旧発注件数	件		1/1	- / -	/ -	1		
	単位あたりコスト			2200.00	/	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	被災した状態では施設を利用することができないため、施設の設置目的を遂行するためにも必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	指定管理者による管理運営を適切に行うために必要な経費であり、基本協定及びリスク分担に基づき実施するものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧を実施することでキャンプ場の運営を再開し、指定管理者の安定した運営継続を図ることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	キャンプ場の運営再開に向けて、災害復旧工事を実施し、完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	災害復旧工事が完了したため、令和元年度をもって事業廃止する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	令和元年度をもって事業廃止済。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	かわまちづくり事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	550313	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	90-92	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市域を流れる由良川と隣接した地域において、水辺空間を活かしたまちづくりを進める。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	○由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるため、国・府・地元団体等と連携した地域活性化策となる事業を展開していく。 【令和元年度の主な事業】 ・庁内関係各課による推進会議及び関係各課若手職員を中心としたPTを組織し、国府市連携のもと事業を実施していくことについて相互に確認、また、国と市の合同で現地踏査や事業者ヒアリングを実施した。 ・令和2年度にかわまちづくりに係るシンポジウムを実施するため、一般財団法人自治総合センターの助成事業に申請し、採択の内示を受けた。 ・大江においては、国のかわまちづくり制度の認定を受けるべく、地元住民とともにワーキンググループを組織し、協議を重ねている。 ・PTを中心に今後の由良川と防災を絡めたまちづくりの指針となる「福知山市由良川防災まちづくり基本構想(案)」を作成した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	75	先進地先視察旅費等						
	消耗品費	1	物品(DVD-RW)購入費						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	333	253	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0
次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(①~③)	333	253	0	0	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	333	253	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 90	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	243	253	0	0	0	0	0	0
	③ 執行額	10	76	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率	4.1%	29.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05/0	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	② 概算人件費	400	1,680	1,680	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	410	1,756	1,680	0	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	76	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	委員提案事業数	件	10 / 10	0 / 10	0 / 10	/ -	-		
	シンポジウム開催	回			/ -	/ 1	1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	検討会議等開催数	回	6/6	0/6	6 / 6	/ 20	-		
	単位あたりコスト		69.80	0.00	12.61	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	民間事業者や市民だけでなく、国府市も連携しなければ実施できない事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	かわまちづくり制度認定後の河川整備は国交省施工となるため、市は少額の負担で最大の効用を得ることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	河川を防災の観点だけでなく資源の観点からも活用検討する事業であり、大きな河川が市内を貫流する本市においては有効性が高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度においては国府市の連携体制の構築、庁内推進会議及びプロジェクトチームの結成、地元ワーキンググループの結成、基本構想(案)の作成など事業が大きく進んだ。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり事業については、民間事業者が主体となる必要があるため、主体となる事業者の掘り起こしが事業の成否を握っている。 ・国のかわまちづくり制度においては、費用対効果や認定を受ける必要性が重視されるため、社会実験を実施し具体的な事業について検討を進める。 ・令和2年度にかわまちづくりに係るシンポジウムを実施するため、一般財団法人自治総合センターのシンポジウム助成事業に申請し、採択の内示を受けたため、実施に向けた検討を進める。 <p>令和2年度～道路河川課「かわまちづくり整備事業」として実施</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山城公園整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課				所属長	清水 俊行						
会計情報	事業コード	530208	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	200・202	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山城を築いた明智光秀が2020年大河ドラマの主人公に決定し、福知山城への来場者の増加が予想されます。城へ続く園路は、損傷も激しく勾配も急なことから、高齢者の方や車椅子、ベビーカー等でも移動しやすい園路へ改修や新設を行い、観光地として来場者の安全性や満足度を高めます。								
対象者	市民及び観光等による本市への来客者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事請負費)								
委託先・実施主体等	メイコー建設(株) (公社)京都府シルバー人材センター連合会 等								
事業概要 (箇条書き)	福知山城公園へ登る園路の改修や本丸広場に園路を設けることで、来場者の安全性、利便性が向上する。高齢者の方や障害のある方など誰もが訪れやすい魅力ある公園にする。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	共済費、賃金 等	337	発掘調査費用 等						
	委託料	4,726	発掘調査費用、昇龍橋塗装業務 等						
	工事請負費	28,358	公園施設改修工事 等						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0		
	② 補正予算	33,800	0	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	△ 33,800	33,800	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	33,800	0	0	0	0		
	次年度繰越	△ 33,800	0	0	0	0	0		
小計(①~③)	0	33,800	0	0	0	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	3,900	0	0	0	0		
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	29,900	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0		
	② 配当予算	0	33,800	0	0	0	0		
	③ 執行額	0	33,421	0	0	0	0		
	④ 執行率		98.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.15/0	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,200	2,400	0	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,200	35,821	0	0	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山城公園整備事業債(地域活性化債)	種類	土木債	実績金額	29,700	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	福知山城来場者人数	人		40072 / 38000	101238 / 100000	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	工事発注件数	件		1/1	3 / 2	/	/			
	単位あたりコスト			0.00	11140.48	/	/			
	単位あたりコスト					/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	大河ドラマで明智光秀が主人公となるなど、福知山城の来場者の増加が見込まれることから必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	景観的な要素や、施工困難な地形もあるが、既存コンクリートを活かした工法を選定しコスト削減につなげている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	大河ドラマで明智光秀が主人公となり、福知山城の来場者の増加が見込まれるが、お城へ続く園路は、勾配も急で損傷も激しいことから、高齢者の方や車椅子、ベビーカー等でも移動しやすい園路の改修や新設を行い、来場者の安全性を高める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山城公園の施設の改修を行い、大河ドラマがスタートするまでに本工事や関連工事を完成させ、来場者の増加に対応する。		
これまでの課題及び今後の方向性			

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート(事中)

(単位:千円)

I 事業属性

事業名	かわまちづくり整備事業											
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課			所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	550313	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	未定	関連計画名	なし						
根拠法令等	なし											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市域を流れる由良川と隣接した地域において、水辺空間を活かしたまちづくりを進める。			
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先・実施主体等(見込む)				
事業概要 (箇条書き)	由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるため、国・府・地元団体等と連携した地域活性化策となる事業を展開していく。広く市民に由良川の水辺空間を活用した取組に関心を持っていただき、由良川を活用した地域活性化につなげるために、令和2年度にかわまちづくりに関するシンポジウムを開催する。			
主な支出に係る 業務内容と経費 (予算)	支出に係る主な費目	支出予算額	主な業務内容	
	報償費	2,400	シンポジウムコーディネーター、パネリスト謝礼 2,000千円、イベント(社会実験)に係る講師謝礼 400千円	
	需用費	50	シンポジウム、イベントお茶代 13千円、ポスター、チラシ等の印刷製本費 37千円	
	委託料	3,550	大江かわまちづくり事業の計画策定 3,000千円	
			シンポジウム看板作成委託費 150千円、イベント委託費(川舟運行船頭委託費) 400千円	

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)
予算情報	① 当初予算	/	6,000	4,682
	② 補正予算		0	0
	③ 繰越予算		0	0
	前年度繰越		0	0
	次年度繰越		0	0
小計(①~③)			6,000	4,682
予算財源内訳	① 一般財源	/	0	0
	② 国支出金		0	0
	③ 府支出金		0	0
	④ 地方債		0	0
	⑤ その他特財		6,000	4,682

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2(中間実績)	最終目標
	社会実験等試行回数	回	/	/	/	0 / 3	6
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	地元WG会議開催数	回	/	/	/	3 / 6	12
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価				
項目	評価の観点	評価	評価の理由	
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	民間事業者や市民だけでなく、国府市も連携しなければ実施できない事業である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	かわまちづくり制度認定後の河川整備は国交省からの協力が得られやすいため、市は少額の負担に抑えて効用を得ることができる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	河川を防災の観点だけでなく資源の観点からも活用検討する事業であり、大きな河川が市内を貫流する本市においては有効性が高い。	
当年度開始後、上半期での取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり事業が全庁的に理解・協力してもらうよう、由良川防災まちづくり推進会議のメンバー（関係部局）を拡大した。 ・本事業の内容を市内部だけで共有するのではなく、国・府との調整会議を実施し外部とも共通認識を図った。 ・令和元年度に引き続き、プロジェクトチームを中心に、月に1回を目標に地元に入って事業の取組に向けた協議（地元WG会議）を実施している。地元の会議には国・府の職員にも参加してもらい、事業の早期実現に向けて取り組んでいるところである。 			
当年度開始後、上半期が経過して生じた新たな課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・国・府と協議するにあたり、事業のターゲットが明確でないといった指摘を受けたため、「誰が」「誰に」「何のために」といった部分を明確にしていく必要がある。 ・地元WG会議の中でも、地元有志の方からは一定の理解は得られているものの、地域住民に協力をお世話になれるよう、プロジェクトチームを中心にもっと地元に入っていく必要がある。 ・かわまちづくりに関するシンポジウムの開催を年度内に予定しているが、新型コロナウイルスの関係でシンポジウムの題材となる社会実験が実施できていないため、下半期で社会実験等のシンポジウムの題材となる活動を実施していく必要がある。 			
下半期及び次年度への改革・改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度にかわまちづくり制度認定を受けられるように、地元・国・府・市が一体となって、今後も国・府との協議や地元WG会議を開催していく。 ・国・府との会議や地元WG会議で指摘を受けたことを今一度内部で見直しを図っていく。 			
VI 他部署評価				
事中事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の全体像が見える化し、その中で個々の取組についてその位置づけや目的、効果などを具体的に整理されたい。 ・事業全体のスケジュールが必要だと感じる。 ・国・府や地元とも調整されており、シンポジウムや計画策定をスケジュール通りに実施されたい。 			
VIII 予算反映結果				
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容		
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな見直しは実施していないが、令和4年度に国土交通省のかわまちづくり制度の認定を受けるために、社会実験やシンポジウムといったスケジュールに合わせた予算編成とした。 		
予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)